



平成29年度 「ジャパン SDGs アワード」



国連持続可能な開発目標（SDGs） を推進している企業・団体等を表彰します

SDGsは、「誰一人取り残さない」多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、2015年に国連で採択された17の国際目標です。日本は、社会の多様なアクターが手を携えて行動する「Public Private Action for Partnership (PPAP)」を提唱しながら、国内外の実施に率先して取り組んでいるところです。企業・団体等によるSDGs達成に向けた活動が加速度的に拡大している中、こうした動きを更に後押しすべく、本年度、第1回「ジャパンSDGsアワード」を実施します。SDGsの取組を通じて、日本を、世界を元気にしたい—そのような熱意あふれる企業・団体等、皆様の応募をお待ちしています！

応募期間

平成29年9月21日(木)～11月21日(火)

SDGs推進本部では、SDGs達成に向けた企業・団体等の取組を促し、オールジャパンの取組を推進するために、SDGs達成に資する優れた取組を行っている企業・団体等を表彰します。

平成29年度の各賞候補を募集致しますので、所定の様式に必要事項を記入し、平成29年11月21日(火)までに、以下のメールアドレスへ電子メールに添付して提出し、ご応募ください。ご不明な点は、以下の問合せ先までご連絡ください。

応募書類提出先・問合せ先

提出先メール：sdgs.secretariat@mofa.go.jp

お問い合わせ：外務省国際協力局地球規模課題総括課 03-5501-8000（代表）

（「ジャパンSDGsアワード」担当（内線番号：3735, 3736, 2563, 2832））

応募資格・注意事項

SDGs達成に資する優れた取組を行っている企業又は団体等を表彰対象とします。また、表彰対象者は、原則として拠点を日本国内に有する団体に限らせていただきます。また、応募者が法令違反の容疑により逮捕され、又は逮捕を経ないで公訴を提起された場合等を含め、応募に際して不正又は不誠実な行為が認められた場合は表彰の対象としないことがあります。

また、結果につきましては、12月下旬頃の受賞者に係る報道発表資料を外務省ホームページに掲載する予定です。なお、審査経過に係る問合せ、審査結果等に対する異議申立てについてはお受け致しかねますのでご容赦ください。

国連持続可能な開発目標（SDGs）とは何か？

SDGsとは？

- SDGs
= Sustainable (持続可能な)
Development (開発)
Goals (目標)
- 193の国連加盟国が、
国連総会で決めた、
「持続可能な世界」を目指す、
17分野の国際的な目標

持続可能な開発目標（SDGs）



ロゴ：国連広報センター作成

持続可能な開発目標（SDGs）の詳細

目標1（貧困）	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2（飢餓）	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3（保健）	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4（教育）	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5（ジェンダー）	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
目標6（水・衛生）	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標7（エネルギー）	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8（経済成長と雇用）	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。
目標9（インフラ、産業化、イノベーション）	強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10（不平等）	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11（持続可能な都市）	包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12（持続可能な生産と消費）	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13（気候変動）	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14（海洋資源）	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15（陸上資源）	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対応ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標16（平和）	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17（実施手段）	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

2001～2015年

MDGs
ミレニアム開発目標
Millennium Development Goals

8ゴール・21ターゲット
(シンプルで明快)

途上国の目標

国連の専門家主導

2016～2030年

SDGs
持続可能な開発目標
Sustainable Development Goals

17ゴール・169ターゲット
(包括的で、互いに関連)

全ての国の目標
(=ユニバーサリティ)

国連全加盟国で交渉
実施手段(パートナーシップ)

「持続可能な開発」の重要性
アクターの多様化

MDGsの深掘り(例:極度の貧困撲滅→あらゆる貧困撲滅)だけでなく



日本を含めた先進国にも関わりの深い新たな課題が含まれる！



※ミレニアム開発目標(MDGs):2001年に国連で策定された目標(例えば目標1「貧困」では、2015年までに1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を1990年の水準の半数に減少させる等)。2015年が達成期限。

SDGsは、日本を元気にし、世界を元気にする取組です！



～その主役は、あなたです！！～



Japan. Committed to SDGs

日本政府の取組

【SDGs推進のための基盤づくり】

- SDGs推進本部の設置
2015年6月に設置。総理が本部長、官房長官と外務大臣が副本部長となり、構成員は全閣僚。国内実施と国際協力との両面を取り組むための体制を構築。
- SDGs推進円卓会議の設置
2015年9月に発足。広範な関係者(行政、NGO・NPO、有識者、民間セクター、国際機関、各種団体等)が集まり意見交換を行う会議。
- SDGs実施指針の策定
ビジョン:「持続可能で強靭、そして誰一人取り残さない経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す。」

SDGs実施指針の概要

17のゴールを8つの優先課題に編成

